

沖縄県における病原体検出状況

平良勝也・系数清正・中村正治・久高潤・安里龍二

Pathogen Surveillance in OKINAWA

Katsuya TAIRA, Kiyomasa ITOKAZU,
Masaji NAKAMURA, Jun KUDAKA, and Ryuuji ASATO

Key Words : 病原体

1 はじめに

病原体の検査は、感染症の予防および感染症の患者に対する医療に関する法律に伴う感染症発生動向調査、保健所及び医療機関からの依頼検査、調査研究等で行われている。今回、平成12年度における病原体の検査結果について報告する。

材料及び方法

1. 感染症発生動向調査

検査依頼数は、2類感染症が3件、3類感染症が59件、4類感染症が202件、合計264件であった。

検査材料別では、咽頭拭い液186件、血液4件、糞便9件、髄液2件、尿1件、分離株62株であった。

2. 医療機関からの依頼検査

医療機関からレプトスピラ菌の検査依頼が5件あった。菌の分離は、医療機関から送付されたコルトフ培地をEMJH培地に接種し、1週間間隔で4代まで継代した。分離菌の血清型の同定は、既知の標準株14株レプトスピラ抗血清を用いて顕微鏡的凝集試験により実施した。

3. 保健所からの依頼検査

a 食中毒依頼検査

検査検体は、臨床材料（分離株も含む）が196検体、食品が206検体で、食品衛生検査指針に基づき実施した。

s レジオネラ属菌依頼検査

レジオネラの検査依頼では、ホテルの冷却塔水18件、浴槽水12件、噴水6件、合計計36について、レジオネラ症防止指針に基づき実施した。

4. 調査研究

a A群溶血性レンサ球菌T型別調査

九州ブロック溶血レンサ球菌感染症共同調査要領に基づき県内の医療機関で分離されたA群溶血性レンサ球菌117株についてデンカ生研株式会社製の血清を用いてT型別を実施した。

s レプトスピラの保菌動物調査

捕獲したネズミ67匹について腎臓及び血液を検体とした。腎臓は乳剤を、血液はそのままEMJH培地に接種し、1週間間隔で4代まで継代した。分離菌の血清型の同定は、既知の標準株14株レプトスピラ抗血清を用いて顕微鏡的凝集試験により実施した。

d クリプトスポリジウムの調査

伊江島、宮古島、多良間島、石垣島、与那国島で飼育されている牛のふん便1206検体について、シヨ糖浮遊法により実施した。

f サルモネラの血清型別調査

本県におけるサルモネラ胃腸炎について、血清型等の動向を把握するために、1医療機関で分離された菌株42株についてデンカ生研株式会社製の血清を用いて血清型別を実施した。

g 広東住血線虫の調査

6月に米軍人軍属家族の7歳になる女兒1名が広東住血線虫症により死亡した。米軍の協力を得て、その地域周辺に生息する軟体動物（アフリカマイマイ18個、シユリマイマイ60個、オキナワウスカワマイマイ40個、オキナワヤマタニシ138個）の検査を行った。

結 果

平成12年度に検出した病原体について表1に示した。

1. 感染症発生動向調査

2 類感染症は、腸チフスの原因菌 *Salmonella Typhi* が 2 例、細菌性赤痢の原因菌 *Sigella sonnei* が 1 例分離された。

3 類感染症は、腸管出血性大腸菌が 40 例分離され、O157 が 20 例 (50%)、O26 が 15 例 (37.5%)、O111 が 4 例 (10%)、O161 が 1 例 (2.5%) の順であった。

4 類感染症は、インフルエンザウイルス 20 例、アデノウイルス 9 例、麻疹ウイルス 6 例、A 群溶血性レンサ球菌が 4 例、コクサッキーウイルス 3 例、エコーウイルス 1 例、RS ウイルス 3 例が分離された。

インフルエンザは A 型が 12 例 (AH1 が 4 例、AH3 が 8 例、)、B 型は 27 例で B 型が主流であったが大きな流行はなかった。

分離されたアデノウイルス 9 例中 5 例はアデノ 3 型で、与那国町における咽頭結膜熱集団発生の原因であった。

SRSV は養護施設内での集団感染事例で検出された。

2. 医療機関からの依頼検査

患者血清 1 例から *L.javanica* が分離された。残りの 4 例からレプトスピラは分離されなかった。

3. 保健所からの依頼検査

a 食中毒依頼検査

本県で発生した 37 件の食中毒事例の内、21 件について検査を実施した。内訳はサルモネラが 9 件、小型球形ウイルス 3 件、腸管出血性大腸菌 3 件、黄色ブドウ球菌 2 件、毒素原性大腸菌 1 件、腸チフス 1 件、不明 2 件であった。

s レジオネラ属菌依頼検査

29 検体中 6 件検出され、その内訳は冷却塔 4 件、浴場 1 件、噴水 1 件であった。

4. 調査研究

a A 群溶血性レンサ球菌の T 型別調査研究

T 型別は、9 種類に分類され TB3264 (25%)、T4 (20%)、T22 (15%)、T12 (11%)、T28 (6%)、T25 及び T13 (3%)、T8 及び T23 (1%) の順であった。T8、T23、T25 は、今回はじめて県内で確認された。

s レプトスピラ保菌動物調査

名護市源河と那覇市の漁港それぞれの場所で捕獲したネズミ 2 匹の腎臓から、それぞれ *L.javanica* が分離された。

d クリプトスポリジウムの調査

伊江島、石垣島、与那国島でプリプトスポリジウムの大型種 (*C.muris*) と小型種 (*C.paruvum*) が検出された。前者は石垣島の成牛 1 頭から、後者は仔牛のみから検出され、1 ヶ月以内仔牛の感染率は 18.5 ~ 27.3% (平均 21.1%) であった。

f サルモネラの血清型別調査

血清型は 14 種類に分類され、最も多かったのは *S.Enteritidis* の 12 株 (33%) であった。次に *S.Wertevreden* 9 株 (21%)、*S.Agama* 7 株 (17%) で、同 3 種が主な血清型であった。

g 広東住血線虫の調査

オキナワヤマタニシ 1 検体から広東住血線虫が検出されたが、感染源及び感染経路の特定には至らなかった。

表1. 平成12年度における病原体検出状況

		検出病原体	由来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
感染症発生動向調査	2類感染症	Sigella sonnei	ヒト				2									2	
		Salmonella Typhi	ヒト						1								1
	3類感染症	Escherichia coli O26	ヒト		3	4	1		4		2	1					15
		Escherichia coli O111	ヒト	2					1		1						4
		Escherichia coli O157	ヒト		1	1	6	2	1	9							20
		Escherichia coli O161	ヒト	1													1
	4類感染症	Streptococcus pyogenes	ヒト														0
		Adeno1	ヒト				1										1
		Adeno2	ヒト				1										1
		Adeno3	ヒト			5											5
		Adeno5	ヒト					1									1
		Adeno6	ヒト	1													1
		Cox. A10	ヒト							1							1
		Cox. A16	ヒト										1				1
		Cox. B2	ヒト	1													1
		ECHO 11	ヒト		1												1
		Influenza.AH1	ヒト												2	1	3
		Influenza.AH3	ヒト											3	3	3	9
		Influenza.B	ヒト			1			1	1				1	8	15	27
		Measles Virus	ヒト									1	1	2		1	5
RS	ヒト					1					2				3		
SRSV	ヒト										4				4		
その他の依頼検査	Leptospilla interrogans	ヒト							1							1	
保健所依頼検査	食中毒検査	Clostridium perfringens	ヒト									1				1	
		Streptococcus aureus	ヒト									1				1	
		Salmonella Bareilly	ヒト			3											3
		Salmonella Enteritidis	ヒト			7	2							3			12
		Salmonella Typhimurium	ヒト				9			2							11
		Escherichia coli O153	ヒト														
		SRSV	ヒト										3	5	1		9
	食品	Salmonella Enteritidis	食品		1												1
		Salmonella Typhimurium	食品				1		1								2
		SRSV	食品											1			1
環境	レジオネラ属菌	環境水				6									6		
調査研究による病原体検査	Leptospilla interrogans	ネズミ								2						2	
	Cryptosporidium	牛								27				6		33	
	Streptococcus pyogenes	ヒト	17	18	18	14	12	6	4	3	10	9	6			117	
	Salmonella	ヒト	1	3	6	5	5	7	6	1	3					37	
	広東住血線虫	タニシ			1											1	
		計		23	26	53	42	22	21	54	7	27	20	30	20	345	

